

ようじえんだより 2016年度6月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

6月主題『感じて』

主題聖句：見よ、それは極めて良かった。 創世記1章31節

☆ 0～2歳児：友だちや身近な物事に関心をもつ。遊びや自分の思いが大切にされていることを感じる。さんびかや祈りの言葉に心を合わせる。感染症に気を付けながら健康に過ごす。

☆ 3～5歳児：神様の創られた自然の不思議さに目を向ける。いろいろな物を使って遊び、興味や関心が広がる。友だち保育者の言動、遊びに心を動かす。トラブルを通して友だちの思いを知る。保育者の援助を受けながら、共に考えてみる。

十日町に来てあつという間に一か月が過ぎました。「だいぶ慣れてきましたね」と声をかけていただく場面が増えてきました。東西南北の方向感覚はまだつかめませんが、地名がわかってきたり、一人一人のお顔とお名前が一致してきて、少しずつ十日町のことや幼稚園のことがわかってきたところでした。慣れてくると、景色の美しさにも気づくようになってきました。桜の見ごろはあつという間に過ぎていきましたが、遠くの山々の頂きにまだ雪があること、近くの山々は緑が美しく輝いています。焦っている時や不安な時は、視野が狭まり、自然の美しさに気づけないことを改めて知らされました。

入園・進級した十日町幼稚園の子どもたちも新しいクラスや環境に慣れてきたようです。私を見つけると「あ、新しい園長マンだ！」と声をかけてくれます。自己紹介してくれたり、一緒に遊ぼうと誘ってくれます。十日町幼稚園の子どもたちは優しい子たちだなと思います。

以前、あるリサーチ会社の調査で「わが子にどんな人になってほしいか」というアンケートが行われました。そこで一番多か

った回答は「思いやりのある人」でした。「かっこいい人(かわいい人)」でも「お金持ち」でもなかったことに、何だかホッとした気持ちになりました。私もわが子や十日町幼稚園の子どもたちに「思いやりのある人」に成長してほしいと願っています。「思いやりのある人」になるには、人の痛みを想像できなければいけません。そのためには、傷つく体験と共に、優しさや励ましを受ける体験が必要です。子どもたち自身が「守られている」ことを日々実感できていれば、「思いやりのある人」にきつとなると思います。

児童精神科医の佐々木正美先生は、「いい子だから可愛がるんじゃないやありません。可愛がられた子がいい子に成長するんです」とおっしゃっています。愛情を注がれた子どもは、自分が守られていることに気づいています。もちろん叱ることも時としては必要ですが、共に痛みや苦しみを分かち合いながら、子どもを励ますことや優しさを注ぐ中で、親も子も人生を歩むうえで大切な「思いやり」を自然と体得していくのではないのでしょうか。

園長：久保田愛策

年間主題『平和とともに』

主題聖句：キリストはわたしたちの平和であります
新約聖書 エフェソの信徒への手紙 2章14節